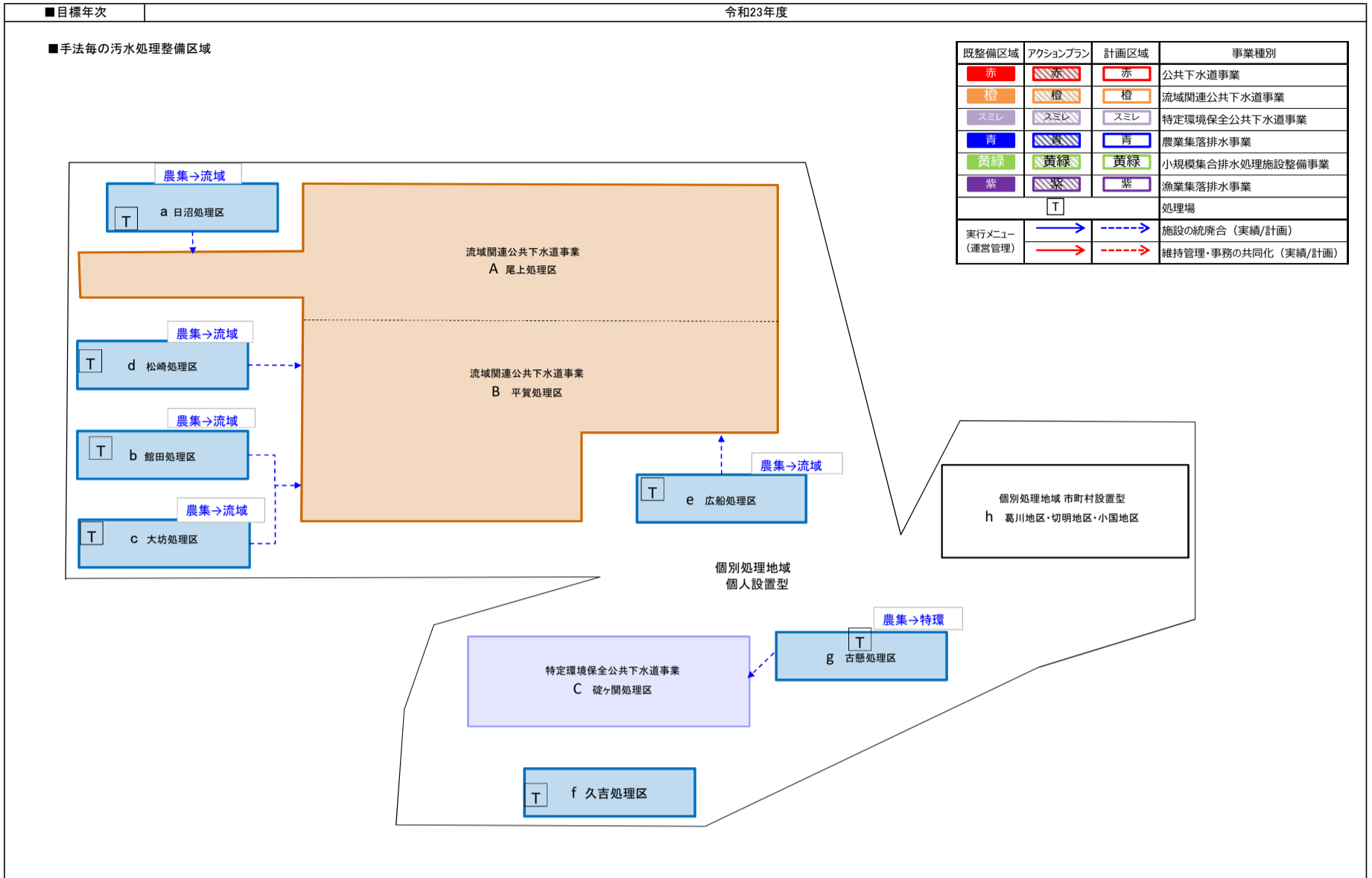


汚水処理整備区域図 目標年次



■整備計画

①課題の整理

課題1	人口減少により、各処理区の施設の余裕が増大している
課題2	市内の処理場が老朽化しており、今後も高額な更新費用が見込まれている
課題3	不明水対策として管渠の調査・更新が必要となる
課題4	

②スケジュール

計画区分	事業	事業内容	12	17	22	27
			令和8年	令和13年	令和18年	令和23年
実行メニュー (運営管理)	下水道	施設の統廃合				
	共通	管渠の調査・更新				

③目標、概算事業費等

整備手法	R13	R23	全体	公共下水道	集落排水施設・コミプラ	浄化槽		備考
						個人設置型	市町村設置型	
整備手法	R13	整備人口(人)	25,544	20,779	4,639	98	28	
		整備面積(集合処理分)(ha)	1,266	963	303			
		日最大汚水量(m ³ /日)	7,796	6,208	1,588			
		計画汚泥量(t-DS/日)	0.1	0.04	0.1			
	R23	整備人口(人)	21,614	17,550	3,914	128	22	
		整備面積(集合処理分)(ha)	1,286	983	303			
		日最大汚水量(m ³ /日)	6,576	5,236	1,339			
		計画汚泥量(t-DS/日)	0.1	0.04	0.1			
ベンチマーク(指標)	経費回収率(%)		-	100	100			
	管渠調査率(%)		100	100	100			
概算事業費	総建設事業費(百万円)		29,030	20,658	8,197		175	
	年間維持管理費(百万円/年)		98	40	57		1	
実施メニュー	施設の統廃合		○	古懸処理区→碓ヶ間処理区 広船処理区→平賀処理区 松崎処理区→平賀処理区 館田処理区→平賀処理区 大坊処理区→平賀処理区				
	処理施設のダウンサイジング		-					
	維持管理・事務の共同化		-					
	省エネ・再エネに向けた取り組み		-					
	その他(管渠更新)		○	調査・更新	調査・更新			